

♪ 2017年度 **poco a poco** ♪

Nr. 21 2018年2月7日(水) 文責: プファイル・辰巳

小の月 2月

小学部の「なわとび大会」の様子を見せてもらいました。縦割り班での健闘ぶりは何度見ても心温まるものがあります。足手まといになるまいと懸命に飛ぶ低学年、リーダーシップを発揮して、低学年のメンバーに声掛けをする高学年・・・それぞれの一所懸命の表情を見ているだけで胸がいっぱいになります。みなさんの「ひたむきな姿」が心を打つのでしょうか。

さて次は「送る会」や「百人一首」ですね。2月は28日しかありません。短いですが充実した月なるようにしたいものです。

みんな集まれ、3学期ミニコンサート!

2017年度最後のミニコンサートを下記の通り計画しました。初めての方は同じクラスのお友だちに様子を聞いて、参加するかどうか考えてみてください。

<3学期のミニコンサートはいつ?>

3月2日(金) 午後2時45分 からです。

終了時刻は遅くなりますが、低学年のお子さまは早めに会場を出られてもかまいません。出入りは自由です。例年会場が混雑しますので、時間差をつけるなどして、席を譲り合っていただけるとありがたいです。

<ミニコンサートの申し込み方法>

申し込みはこの裏面に印刷されている用紙に必要なことを記入して切り取り提出してください。予備の用紙は、申し込み期間中、職員室の辰巳の机の上に置いてあります。必要な人は取りに来てください。

低学年の子どもたちの場合は、曲名などを書くのが難しい場合もありますの

でお母様方のご協力をお願いいたします。記入済みの用紙は、締め切りを守って、必ず辰巳まで提出してください。

<申し込み受付期間は?>

2月8日(木) から2月22日(木) まで。

プログラム作成後は追加の申し込みには一切応じかねますので、必ず締め切りを守ってください。

ソロ楽器の伴奏を希望される場合は、2月15日(木) までに各学年の音楽担当の先生まで、伴奏譜を添えてご相談ください。技術的・時間的な問題から、全てのご要望にお応えできないこともありますので、ご了承ください。授業で取り扱っている曲については、この限りではありません。

<その他のちょっとしたルール>

希望する人みんなが出演できるようにするには、いろいろなルールも必要になってきます。申し込みの締め切りを守るのもその一つですが、他にも以下のようなルールを守ってください。限られた時間の中で、みんなが気持ちよくお互いの演奏を聴き合うための約束です。

- (1) 1人(あるいは1グループ)の演奏は1曲のみ、時間は3分程度とします。(短い曲ほどありがたいです)選曲が難しくなるのは承知の上ですが、習い事の発表会とは趣旨が違いますから、ご理解ご協力をお願いします。これまでも、ほとんどの人がこのルールを守ってくださっています。
- (2) 1回のミニコンサートに1人の児童生徒が出演する回数は2回までとします。(ソロの演奏は1回のみ。後はクラスでの出演など。同じ楽器で2度出演する、例えばピアノソロと連弾のように・・・、もご遠慮ください。)
- (3) 同一楽器による独奏は、年間3回のミニコンサートの内1~2回程度にとどめていただきたいと思います。是非お友だちとのアンサンブルを、この機会に楽しんでください。

- (4) 演奏と演奏の間の出入りは自由ですが、速やかに願います。途中から聞く、途中で帰宅するというのもかまいません。ただし、



個人的な理由によるプログラムの順番の入れ替えには応じられませんのでご了承ください。
プログラムはほぼ学年順に組んでいきますので、高学年の人は出演時刻が遅くなります。そのことも考え合わせて、参加するかしないかを決めて下さい。

(5) 保護者の皆様へのお願い

子どもたちの主体性を大切に：「個人の部で出演するのか」「どの曲を演奏するのか」「誰と出演するのか」。。。準備に当たって、特に低学年の子どもたちには、保護者の皆様の助けを受ける場面も多々あるかと思いますが、なるべく以下のことにご配慮をお願いします。そして、子どもたちが**主体性を持って、なるべく自分たちのできる範囲**で取り組めるようにご支援ください。

- ① 出演については、「この演奏を聞いてもらいたい」という目的意識をしっかり持ち、「出演するなら一人でもやる」くらいの気持ちを持って申し込みしてください。また、毎回何が何でも出演する必要はありませんし、年間に3回チャンスがありますから、見通しを持って取り組んでください。
- ② 選曲については、授業で習った曲などを中心に無理のないように。
- ③ おそろいの衣装や小道具などは必要ありません。任意で用意する場合も、決して華美にならないようにしてください。「音楽を演奏する」ということが一番大切なことです。
- ④ 小アンサンブルの規模が大きくなりすぎて、練習場所に困るほどの大グループにならないように。子どもたちが自主的に教室やご家庭で練習できる範囲を超えないこと。
- ⑤ ミニコンサートを通じて「音楽の仲間」を見つけられるように。間違ってもミニコンサートが仲違いの種になどなることのないように。
- ⑥ パウゼの時間など、音楽室で練習してもよいですが、場所やピアノをゆすり合いながら仲良く練習してください。できることはおうちや教室で練習してください。



では、ルールを守って楽しいコンサートにしましょう。みなさんの楽しい企画を待っています。

ミニコンサート参加希望票

・
・
・ 演奏者 _____ 年 _____ 組
・
キ
・
・
・ 名前 _____
・ *グループ名で参加する場合はメンバーの名前をこの下を書いてください。
リ
・
・
・
ト
・ 演奏の種類
・
・ 独唱 独奏 (楽器名 _____))
リ
・ 合奏 (使う楽器 _____))
・
・ 合唱
曲名 _____
(同じ名前の曲がたくさんある場合は作曲家名も書いてください)